

52 アカマタ聳入（口）

（普天間権現由来）

ある、ちよつと名高い家庭の一人娘であつてね、この娘が大変きれいだったつて。それでね、このアカマターもとてもきれいな青年になつて、その娘に迷わされて。それで、このアカマターの、何か、妊娠したさ。

それで、親はね、親は知らなかったから、

「いつの間にこんな、自分の名高い家庭に娘として立派に育て上げたのに、いつの間にこんな顔さらししたのか」と大変親に説教されておつたつて。それで、もう娘がもうわからない。

「ただ一目だけ見たただけけど、どんなことをされたか自分にもわからない」つてね。

それで、ある日、親に教えられて、

「もう、今晩来る時は、この針を髪に突き刺しておきなさい」て言われたからね、長い糸を引いて、髪に針を突いたのがね、はなになつて行つたつて。それをね、もう帰つたらすぐ翌日、この糸を尋ねて行つたらね、

普天間の壕に入つて行つたつて。

それで、その娘はね、女の子二人できたつて。だからね、このアカマターが、

「あなたができた子はね、普天間の壕にね、神として連れて行きなさい」と。それで、普天間の壕にね、連れて行つたらね、背中に乗せて、壕の中に入つたつて。この娘が生んだ子は。女の子、双子であつたつて。神であつたわけ。

それで、あれから自分の子を見ることもできないしね、そのまんま壕で神になつたつて。

字伊敷 新垣ヨシ